

## 会長メッセージ



# 「世の女性に美しくなって貰う事によって 広く社会に貢献する」

## この変わる事のないワコールの信念を 次の世代へとつないでいきます。



ワコールは、今から70年前の1949年、父である塚本幸一によって創立されました。当時の日本は、和装から洋装への大きな転換期であり、また経済発展に伴い、美やおしゃれに対する女性の意識も高まりつつある時期でもありました。こうした時代背景のもと、「世の女性の“美しくありたい”という願いの実現に役立つ」という信念で、婦人洋装下着という新たな産業を日本に興したのです。

また、創立間もない時期に、「世界のワコール」を目指すという壮大な目標を掲げ、世界中の女性の美に貢献する会社になることを宣言しています。この「十年一節計画」と呼ばれる経営目標は、10年を一区切りに5節50年からなる極めて長期のものであり、当社は、第一節(1950年代)の「国内市場の開拓」から、第五節(1990年代)の「世界のワコールへ」までの道のりを着実に歩みました。1970年には、韓国、タイ、台湾に進出を果たし、その後、80年代には米国や中国の市場へも参入するなど、現地に根差した独自の海外事業を展開し、世界のワコールの礎を築き上げました。

しかしながら、グローバルカンパニーへの道に終わりはありません。今般、改めて将来に向けて目指すべき姿を定義したのは、変わる事のないワコールの信念をしっかりと次の世代へとつなぎ、挑戦を続けていくためです。

世の中には今、第4次産業革命と言われるデジタル・IT技術革新の波が押し寄せています。当社グループがこれからも持続的に発展するには、これを上回るスピードとダイナミックスを持って変革を進める必要があります。そのためにも、全社員が、変化を味方につけ、新しいことに挑み続けられるよう、「“変える、やめる、はじめる”が当たり前」という風土の醸成を図ることが私の役割だと認識しています。同時に、創業者の描いた夢や精神を引き継ぐ次世代の経営人材の育成にも力を注ぎます。

私たちはこれからも、失敗を恐れない向上心と、過去の成功に甘んじない謙虚さを持って、企業価値の向上に努めるとともに、持続的な社会の実現に貢献してまいります。

2019年9月

株式会社ワコールホールディングス  
代表取締役会長

塚本幸一